

高校生が史跡めぐりを企画・案内 朝倉市で「秋月の乱」名所探訪

2023年8月12日 九州版

カテゴリー：その他教育活動



当日の史跡めぐりの模様

福岡県立朝倉高校

福岡県教委では、魅力ある県立高校づくりに向けた各校の「面白い取組」を紹介している。

福岡県立朝倉高校（朝倉市甘木・古賀浩利校長）では、7月23日（日）に史学部の生徒が案内人となって、秋月城下にある秋月の乱にまつわる史跡を巡った。秋月の乱は、1876年（明治9年）に起こった、明治政府に対する土族反乱のひとつである。

このイベントは朝倉高校史学部と朝倉市教委とのコラボにより実現した、ユニークな地域密着型の企画である。当日は約40名の参加があり、史学部特製のオリジナル資料も配布された。

史学部は、これまでも地域貢献・地域活性化につながる活動を幅広く行ってきた実績があり、4年前の同部による調査研究がきっかけで話題となった嘉麻市のリブアーチ型石橋は、本年5月に嘉麻市の市指定有形文化財に指定された。

また、史学部と地元の和菓子屋とのコラボにより、地域の歴史や伝統に関連した「為朝饅頭」や「銘菓 甘木絞」なども開発しており、この秋には「秋月の乱」をテーマにした第3弾の発売も予定されている。



リブアーチ型石橋



為朝饅頭



銘菓 甘木絞